

Title	東京府内 區分繪圖
Sub Title	
Author	河北, 展生(Kawakita, Nobuo)
Publisher	三田史学会
Publication year	1952
Jtitle	史学 Vol.26, No.1/2 (1952. 12) ,p.76- 76
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	餘白録
Genre	Journal Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00100104-19521200-0076

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

Fidel.....sublati sunt, Romae 1646, s. 72; Pages I, 787.

(八) Cardim, op. cit. s. 74; Pages I, 793.

(九) Pages I, 879.

(一〇) J. E. Nierenberg S. J., Vida del dichoso y venerable Padre Marcelo Francisco Mastrilli, Madrid 1640, ff. 78 v.-84; Pages I, 827~839; 茂野、前掲、一三九頁。

(一一) シドットイの日本潜入及び死に就ては、サレジオ會士タシナリ師の研究がある。P. R. Tashinari S. D. B. in Monumenta Nipponica, Bd. V, n. 1 (Tokyo 1942), ss. 246~253: The End of Padre Sidotti. Some New Discoveries.

(松田毅一譯)

東京府内 區分繪圖

明治三年夏に 松迺展貫一校正で、須原屋茂兵衛の出版せる表題の如き地圖がある。本圖は綠色の題箋に東京府内區分繪圖全と記した折たたみ圖で、地圖面は西を上方にし、左下隅に東京灣を記載せる點に於て、從來の江戸圖の形式を繼承するもので、一三區を淡紅色に、三・四・五區を薄青色に、六區を薄黄色に塗つて居り區境線と區番號を紅で後刷りで入れて居る極めて平凡な地圖である。

(河北展生)

ところが、第二大區第三小區の中央東側、即ち芝新錢座町の部分に、江川、上田、兵部省操練所に圍まれた一劃に、「フクザワ」と記入してある。これは當時新錢座に居住していた福澤諭吉宅を示すものと思はれる。福澤の住宅は即ち慶應義塾の所在地でもある。この圖はおそらく江戸東京の地圖で、福澤諭吉及び慶應義塾の所在を示した最古の地圖ではあるまいか。猶同圖には三條、岩倉、大久保、木戸等の明治の元勳の住居をも記して居る。